

テックエンジニアリング株式会社 総務部経営企画グループ 部長 鈴木 一弘
「テックエンジニアリングにおける全社エコドライブ取組について」

荒川区 環境清掃部 環境政策担当課長 山本 吉毅
「荒川区のエコドライブへの取り組み」

尼崎ドライブスクール 教習事業部 副部長 福井 俊也
「エコドライブ取組みの実践」

(社)日本損害保険協会 生活サービス部長 五十嵐 朗
「日本損害保険協会の『エコ安全ドライブ』の取組み」

(3) シンポジウムの様子



発表の様子



会場の様子

(4) 発表の概要

以下、文責はシンポジウム事務局にあります。速報のため事後修正の可能性があることご承知おきください。

【国土交通省】

わが国のエコドライブの推進状況について、国土交通省の平川専門官より発表して頂きました。最初に、我が国の運輸部門のCO₂排出状況、運輸部門における地球温暖化対策についての紹介がありました。その地球温暖化対策の1つとして、エコドライブ普及連絡会（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）では「エコドライブ普及・推進アクションプラン」を策定しエコドライブを推進しています。具体的には、エコドライブ講習会、レンタカー利用者にエコドライブを実施してもらう「エコRUNキャンペーン」、安全・環境先導車の指定、エコドライブ管理システム（EMS）の導入促進などを、エコドライブ普及推進協議会の構成団体をはじめとする各種団体の協力により、実施していることが紹介されました。また、国際的な動向として、国際エネルギー機関（IEA）が北海道洞爺湖サミットでG8諸国に対して出した省エネルギー勧告の1項目として、エコドライブの普及が採択されたことなどが紹介されました。

今後は、乗用車や自家用貨物車を利用する一般ドライバー、中小事業者へのエコドライブ普及を図っていくという方針について説明して頂きました。

【財団法人省エネルギーセンター】

財団法人省エネルギーセンターの谷口氏より、「エコドライブの普及に向けて」として、エコドライブ普及に向けての課題、推進するための考慮事項、エコドライブ教習と推進体制について紹介頂きました。

エコドライブ普及に向けての課題として「ドライバーのエコドライブに対する認識」と「エコドライブに繋がる運転操作の認識不足」について、具体的なデータを交えて説明頂きました。その上で、考慮事項として業務ドライバーと一般ドライバーでは推進の方法が違うこと、エコドライブの知識も重要であるが、実践しようとする意欲を醸成することが重要であるという点を説明頂きました。また、具体的に推進するための取組として、エコドライブ教習の基本的考え方、推進体制について紹介頂きました。

【交通エコロジー・モビリティ財団】

交通エコロジー・モビリティ財団の松田から、交通エコロジー・モビリティ財団と財団法人省エネルギーセンターが、エコドライブ講習会受講者拡大のために協同で開始した「乗用車のエコドライブ講習の認定制度」について、紹介を行いました。

エコドライブ講習の認定制度では、エコドライブ講習実施団体として認定を希望する団体に対し、財団法人省エネルギーセンターがインストラクター養成教習会を実施し、その後、交通エコロジー・モビリティ財団が認定を行います。認定を受けた団体でエコドライブ講習会を受

講したドライバーには、修了証が授与されることとなります。具体的な認定団体候補として自動車教習所等を考えており、認定制度の推進を図ることでこれらの団体とのエコドライブを推進する協力体制を構築していくとのことです。認定希望団体への支援としては、インストラクター教習会の開催や、燃費解析ソフト、修了証の提供を無償で行い、教習用テキストの提供を有償で行っています。現在、認定申請済みの団体は9つあるとのことです。このような認定制度を通じて、各地方にエコドライブを学べる拠点を増やしていきたいとのことです。

【テックエンジニアリング株式会社】

テックエンジニアリング株式会社の鈴木氏から、同社が全社で行っているエコドライブの取組について紹介頂きました。同社は全国に多くの社有車を保有していますが、燃料コストの増大と、環境配慮契約法の施行による契約時のエコドライブ実施の証明の要求により、エコドライブの実施を推進することになったとのことです。

燃費は社内のシステムで自動集計しており、その集計結果を使用し、ベストエコドライブ賞の授与やサービスステーション間での対抗戦などを行い、推進を図ってきたとのことです。その結果、全サービスステーションで平均燃費が向上し、約1,600万円のコスト改善が出来たとのことです。(独)環境再生保全機構のエコドライブコンテストに参加し入賞したことも、社内でのモチベーションアップに繋がったようです。また、エコドライブの実施により環境への意識が高まり、女子社員の制服をリサイクルして植木鉢にするなど、環境活動も積極的に実施しているとの報告もありました。

【荒川区】

荒川区におけるエコドライブの取組について、同区の山本氏より発表して頂きました。荒川区では「環境交通のまち・あらかわ」を目指しており、その1つとしてエコドライブに取組んでいるとの紹介がありました。具体的な取組内容としては、財団法人省エネルギーセンターと協力し、区の職員、区民、事業者を対象にインストラクター養成教習会を開催、その養成されたインストラクターと区が協力してエコドライブ教習会を開催しています。これまでインストラクターの派遣実績40名(延べ)、一般ドライバー82名、事業者39名の方が講習を受講されています(11/6時点)。荒川区のエコドライブ講習会は交通エコモ財団から認定を受けており、受講者に対しては修了証を発行しているとのことです。今後もエコドライブ教習会を引き続き実施、拡大していくとのことです。

【尼崎ドライブスクール】

尼崎ドライブスクールにおけるエコドライブ教習会の取組について、福井氏より発表して頂きました。同スクールでは、他の教習所に先駆けてエコドライブに取り組んでおり、乗用車のエコドライブ講習認定の第1号として交通エコモ財団から認定されたそうです。

教習所の社会的役割、エコドライブに携わったきっかけ、エコドライブ教習の具体的な内容、

今後のビジョンなどについて紹介頂きました。教習会の成果としては、燃費が平均 25%改善、受講者の事故軽減にも繋がるとのことでした。

今後のビジョンとしては、違反者講習・初心者講習にもエコドライブを導入したいことや、全国的なインストラクター教習会の実施、全ての教習所が講習認定を取得することが望ましいなどといったご意見を頂きました。

【社団法人日本損害保険協会】

社団法人日本損害保険協会の五十嵐氏からは、「エコ安全ドライブ」の取組みについてご紹介頂きました。同協会では、自賠責保険や自動車保険などを通じ、エコドライブが環境保護だけでなく交通安全の面でも効果があることに着目し、「エコ安全ドライブ」の普及啓発を 2004 年度から展開しているとのことでした。

同協会では、エコドライブ普及連絡会制定の「エコドライブ 10 のすすめ」から「ふんわりアクセル『e スタート』」等の 5 項目を抜き出し、「エコ安全ドライブ 5 か条」として推進をされており、全国の 314 の指定自動車教習所では「エコ安全ドライブ 5 か条」をわかりやすく解説したビデオの放映をしていることをご紹介頂きました。また 2008 年度は、ステッカー等の配布、フォーラム等の開催、一般公募のエコ安全ドライブモニターによる調査の実施などを実施したとのことでした。今後ともエコ安全ドライブを国民運動につなげていくため、各種の啓発活動を行っていききたいとのことでした。